

会計基準の設定過程および政策評価

国際商経学部 辻川 尚起

キーワード

会計規制、会計政策、会計基準設定、会計基準の適正手続、適用後レビュー

研究概要

会計規制はルールであり、政治的、経済的、社会的、文化的、国際的、歴史的な影響を不可避免的に受けることになる。かかる前提に立ち、その形成にかかわる背景と機制と過程、そして実施してからの影響を、理論と実証の両面から分析する。具体的には、以下の3つの論点を研究対象としている。

- ・企業や銀行に対する会計規制の実施過程における経済的影響(政策評価)や事後的な効果測定である適用後レビュー制度評価に関する理論的・実証的研究
- ・企業や銀行の裁量的会計行動の影響要因および株式市場などへの経済的影響に関する理論的・実証研究
- ・会計基準が設定される過程における会計規制の政策形成(議題設定と基準設定)のメカニズムやプロセスおよび適正手続に関する理論的・実証的研究

アピールポイント

企業の財務会計や経営分析、ディスクロージャー戦略の分析を事例に、ロジカルシンキングや戦略的思考をテーマとする、上場企業の研修講師やセミナー講師をこれまで10回以上務めた。社会人を対象とする経営大学院(ビジネススクール)で8年にわたり同様の内容の講義を行った。

応用分野

企業分析、財務諸表分析、企業価値評価
ディスクロージャーのための戦略的思考・論理的思考